

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		092202		一般廃棄物焼却処理施設運営管理事業 (西部クリーンセンター)		担当部課	部課コード	091100	2948-3141	
事業コード		092202		一般廃棄物焼却処理施設運営管理事業 (西部クリーンセンター)		担当部課	部課コード	091100	2948-3141	
開始年度		46		年度		終了年度	年度	グループ		
開始年度		46		年度		終了年度	年度	グループ		
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		根拠法令		
	分野別計画・指針	所沢市一般廃棄物処理基本計画						廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	関連・類似事業	一般廃棄物焼却処理施設運営管理事業 (東部クリーンセンター)						所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		
	総合計画の体系	章	環境・自然	節	廃棄物の減量・資源の循環	基本方針	環境に配慮したごみ処理体制の推進			
事業開始の背景	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村は一般廃棄物の適正処理に努めなければならないとされている。本事業は、焼却施設の適切な維持管理に努め、環境負荷の低減を図りながら廃棄物の適正処理を行うものである。									
事業の内容	目的 (どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)									
	焼却施設の適切な維持管理に努め、環境負荷の低減を図りながら廃棄物の適正処理を行う。									
	対象 (誰を、何を対象としているのか)	所沢市民と事業者から排出される「燃やせるごみ (西部クリーンセンターの年間焼却量)」を対象とする。		対象数	単位	平成 26 年度	28,655	t		
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)				
	予算現額			728,167	731,572	720,320				
	決算 (見込み含む)			725,098	671,935					
実績	(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費		3.25 人	28,343	2.75 人	23,815				
	事業費合計			753,441	695,750					
	財源内訳	一般財源		753,441	695,750	720,320				
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	焼却量	年間焼却量	t	28,655	25,620	27,000	24,689		
	ダイオキシン類測定	測定結果 (A系炉)	ng-TEQ /m3N	0.000160	0.000170	<0.1	<0.1			
改善点	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	ダイオキシン類測定	排ガス中のダイオキシン類濃度が 0.1ng-TEQ/m3N以下であること	ng-TEQ /m3N	目標値 <0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかをチェックしてください		
評価	(1) 平成27年度中に改善した点 (改善内容・その結果について記載してください)				(2) 平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	夏季節電対策として、燃やせるごみの排出量を東部クリーンセンターと調整し、東部クリーンセンターでの発電量増加に寄与することで節電効果が得られた。									
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了		事業実施方法 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		理由			
	評価	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持		理由			
	評価	(1) 平成28年度に取り組んでいる状況				(2) 今後の方向性				
評価	市民等が排出するごみは、リサイクル等行い抑制を図りつつも現状では東西のクリーンセンターで焼却処理を行う必要がある。また、施設が老朽化しているため延命化を図る基幹的設備改良 (長寿命化) 工事を平成26年度から平成28年度までの3か年で行っている。				今後のごみ処理については、東西のクリーンセンターで焼却処理の調整を行う。また、平成28年度に完成する長寿命化工事に伴い、CO2の削減や省エネ化を図っていく。					
	評価日	平成28年7月21日		評価者職氏名	施設課長 遠山秀仁					
環境影響	有益な環境影響	2-3廃棄物の適正処理		2-3-1環境に配慮した適正な処理体制の確保		有害な環境影響を及ぼす原因活動	廃棄物の焼却処理及び排出		規制を受ける環境法令等	有
環境影響	有益な環境影響	2-3廃棄物の適正処理		2-3-1環境に配慮した適正な処理体制の確保		有害な環境影響を及ぼす原因活動	廃棄物の焼却処理及び排出		緊急事態	有